

受領No. 1651

欧州渡航情報認証制度（ETIAS）と EU 専門機関の役割：責任論の観点から

代表研究者 堀井 里子（国際教養大学 准教授）

The European Travel Information and Authorisation System and the Role of EU Agencies: Accountability and Responsibility

Representative Satoko Horii (Associate Professor, Akita International University)



研究概要

諸国家は、国境管理において「安全な渡航者」と「懸念される渡航者」を「選別」するため、生体認証や監視技術、AI などの先端技術を導入している。こうした国境のデジタル化の流れで、欧州連合（EU）は 2025 年から欧州渡航情報認証制度（ETIAS）を導入予定である。ETIAS とは、シェンゲン圏（※ 1）に短期滞在を希望するビザ免除国の渡航者を事前に審査し、渡航許可を与えるものである。渡航者が提供する個人情報をもとに審査が行われるが、その過程では AI が活用される。本研究課題は、ETIAS がいかなる民主的プロセスのもとで個人情報を収集・審査するかを問う。とくに、ETIAS の開発と運用を担う EU 専門機関（eu-LISA、Europol、Frontex（※ 2））の役割を「責任（レスポンシビリティとアカウンタビリティ）」の観点から分析し、渡航者に及ぼしうる構造的な諸課題を検討する。本研究を通して、各国で稼働する同様の制度が公正な審査を担保するための手がかりを提供したい。

- ※ 1 シェンゲン圏とは、EU 加盟国を中心に出入国検査を撤廃し自由な国境移動を可能とした領域を指す。
- ※ 2 EU 専門機関の日本語名称は「自由・安全・公正領域の大規模 IT システム運用管理のための欧州機関（eu-LISA）」、「欧州国境沿岸警備隊（Frontex）」、「欧州刑事警察機構（Europol）」である。